

みんなで大切に育てた岩沼のドングリ 玉浦の集団移転地へ ～玉浦の緑を育てるプロジェクト第二弾～

2013年6月10日(月)～12日(水)に、岩沼市内の農家の方の敷地の一部をお借りして、市内に自生する木のドングリから育った苗を、植え替える作業が行われました。この苗は、昨年度の11月にグリーンピア岩沼の近くの山や金蛇水神社・竹駒神社において拾ったドングリ（コナラ・カヤ・シラカシ・アラカシなど）を育てたもので、「玉浦の緑を育てるプロジェクト」の一環として行われました。

まずは育った苗の水やりをしやすくするために、広く敷き詰めたシートの上に大きなトレイを並べ、土を1cmほど敷いてから、ポットの入ったトレイを並べる作業を行いました。これによって、たくさんの苗の水やりがしやすくなり、また、根腐れを防ぐことができます。

また、昨年度のイベントで拾ったドングリのうち、ポットに一つずつ植えずに大きな鉢に混植したものからも芽が出ており、それらを土から出してポットに植え替える作業も行いました。土から出した苗は、乾燥しないように水を張ったたらいに種類別に入れ、3本ずつポットに入れていきます。植え替えるときにドングリにきちんと土をかぶせることと、愛情を込めることが、大きく育つコツだそうです。植え替え用の土は、3種類の土（赤玉土・鹿沼土・腐葉土）を一定の割合で混ぜて作りました。これらの並び替えや植え替えは、日本大学の澤先生・市内の農家の方・市内の造園業の方のご指導のもと、大澤研究室および石川研究室内の学生が参加して行いました。

ここで育った苗は、今後、防災集団移転地にできる居久根と公園の中に植えられ、新しいまちの中で育っていくことになります。



写真：ドングリの苗が育ちました
(上：5月2日 芽生え 下：6月10日 若葉が成長)



写真：水やりの工夫を相談しています



写真：シートを敷く様子



写真：培養土を作っている様子



写真：ドングリ苗の植え替えの様子